

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
疾病と傷害4						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	2期	澤田 海彦		○	
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	疾病と傷害		座学	1	10	
科目概要						
多くの患者は、複数の慢性疾患および合併症を有し、多種類の薬を使用していることが多い。柔道整復師として患者の治療にあたるには、患者の有する疾患の既往、現状態、合併症や医師から受けている治療、服用中の薬などについて十分な情報と知識を習得する必要がある。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として患者を正しく理解し、治療できるようになるために、腎臓、神経臓器に起こる代表的な疾患および、感染症、膠原病の基礎的知識を習得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	腎臓器、神経臓器に起こる代表的な疾患及び主な感染症と膠原病について 1. 原因を列挙することができる。 2. 病態を述べるができる。 3. 徴候を列挙することができる。 4. 診断の概要を述べるができる。 5. 予後について述べるができる。 6. 治療についての概略を理解する。					
履修に必要な予備知識や技能						
授業内容を理解するためには生理学・病理学概論で学習した関連事項についてノート、教科書などで復習してから授業に臨むこと。疾病と傷害1で学習した所見と各疾患との関連を結び付けて理解すること。						
教科書・参考書						
教科書:一般臨床医学 改訂第3版 参考書:生理学 改訂第4版、						
受講上の注意						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 <small>小テスト (チェックテスト)</small>	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90				10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	G 腎・尿路疾患			198～210	教科書・プリント	
第2回	G 腎・尿路疾患			210～220	教科書・プリント	
第3回	H 神経疾患			220～228	教科書・プリント	
第4回	H 神経疾患			228～232	教科書・プリント	
第5回	H 神経疾患			232～236	教科書・プリント	
第6回	I 感染症			236～244	教科書・プリント	
第7回	I 感染症			244～251	教科書・プリント	
第8回	J リウマチ・膠原病・アレルギー			251～256	教科書・プリント	
第9回	J リウマチ・膠原病・アレルギー K 環境要因による疾患			256～264	教科書・プリント	
第10回	定期試験					
実務経験と本講義との関連について						
医師免許取得(昭和43年)後、内科医師として、大学病院および公立病院で、医学生の指導をよび、外来、入院患者の診療を担当した。						
メールアドレス						
sawada-t@nihonisen.ac.jp						